

# ヤングパワー 若い力で元気な里山づくり!!



ささき ゆうき  
佐々木 勇紀さん (日野町)  
7月から活動に参加しています。農作業は初めてのことが多く最初はキツかったですが、今では楽しく参加しています。今後も色々な新しいことに取り組んでみたいですね。

西部地区では「日野ボランティア・ネットワーク」が県と委託契約を結び、現在3人の若者がアドバイザーの指導のもと日野町上菅地区の農地を拠点に活動を行っています。

若者による「耕作放棄地の農地化、維持管理活動等」を通じた地域づくり、農業を通じて新たな就業機会の創出を目指す「若者地域づくり支援事業」について、前号に引き続き活動状況を紹介いたします。



事業の主であるソバ畑の種まきを行いました。順調に芽も出はじめ、収穫が楽しみです。



畑の野菜も少しずつ収穫でき、昼食に利用しています。「自分たちで作った野菜の味は格別！」と飛田さん



## 活動状況



町内の子どもたちと一緒に、お年寄りへのお誕生日カード作りなどのボランティア活動を行いました。



日野町の合同朝市「とれとれ朝市ひの」で、菅福元気色の豆腐、味噌などの販売体験を行いました。



園芸試験場日南試験地を見学し、職員から野菜づくりの助言を受けました。今後に活かそうです。

## 活動者募集

現在、活動者を2名追加募集していますので、参加を希望される方はお問い合わせください。

参加資格：日野ボランティア・ネットワークの指定する活動日に通える30歳未満の方  
活動期間：平成16年12月末まで  
主な活動場所：日野町上菅地区（伯備線上菅駅から徒歩10分）

活動は月15日間くらい（1日6時間以内）月曜～金曜が中心（月2回程度、土・日曜の活動あり）農作業に係わる活動に月10日以上参加した場合、5万円の活動支援金及び10日分の交通費（実費）を支給します。道具などを準備する必要はありません。また、傷害保険に加入します。

○参加については日野ボランティア・ネットワークで面接の上決定させていただきます。

○定員になり次第、締め切らせていただきますので、御了承ください。

問い合わせ先  
県民局 県民課  
電話 0859-72-2086  
担当 梅林一成

# 日野郡の魅力をPR

日野郡広域観光推進協議会から



8月28日(土)大阪府豊中市千里中央で日野郡の商品を売り込み、日野郡をPRしました。ナシの販売に負けまいと、「いかがですかー」と声を張上げると「このそばまんじゅうおいしいのよねー」とご存知の方もあり、うれしかったです。



7月24日(土)日野郡合同朝市「とれとれ朝市ひの」を米子駅前だんだん広場で昨年に引き続き行いました。35度を越す猛暑のなか、約1000人ものお客さまにおいでいただきました。

## スタンプ設置場所

- ・(日南町) アメダス茶屋サンデーイッチ
- ・もみの木市
- ・印賀ふれあい市
- ・ゆきんこ村四季彩
- ・日南邑ファームイン
- ・ホームランド多里
- ・(日野町) にこここ市
- ・長楽寺
- ・出雲街道根雨宿一番館
- ・(江府町) みちくさ市
- ・ふれあい朝市
- ・休暇村大山鏡ヶ成
- ・エバーランド奥大山
- ・(溝口町) みぞくち朝市
- ・榎水フィールドステーション

問い合わせ先  
日野郡広域観光推進協議会  
事務局：県民局 関 通子  
電話 0859-72-2083

朝市スタンプラリー  
期間 H 16:9:20  
「日野郡へおいでください。」  
日野郡各地で行われている朝市などで買い物をしていただき、スタンプ6個を集めていただくと、抽選で当選者に各朝市ショップから新鮮野菜などの詰め合わせを送ります。もちろん、日野郡の方々もご応募できます。応募用紙は各町及び日野郡主要観光地においてありますので、ふるってご応募下さい。



(昨年のツアーの様子)

今年もそば打ち体験をコースに入れる予定です。場所によって材料も打ち方も違うんです。皆さんもためしてみてください。楽しいですよ。

日野郡の魅力を再発見ツアー  
日野郡を多くの方に知っていただくため、今年も日野郡各地をバスで回る観光ツアーを行います。昨年同様2コースに分かれて、何箇所かのおすすめポイントを一日かけて紹介します。もちろんガイドさんに説明をお願いします。只今、内容について最終打ち合わせ中ですが、参加者には日野郡を堪能していただけること間違いなし!! 参加お待ちしています。  
実施日 10月30日(土)  
※参加申し込みは10月からの予定です。

# 地域の自立「鳥取ルネッサンス」の話 (第8回)

## 日野郡の「もの」の活用



鳥取ルネッサンスロゴマーク「自立」  
鳥取ルネッサンス  
地域の自立と再生を!



間伐したまま放置された杉  
径24cmあれば柱が1本とれるが...

この径の杉でも市場にもって出ても  
値がつかず運賃手間賃のもととれない

日南町生山の坪倉さん、杉の間伐に励んでおられます。間伐した木材は写真にあるような太さであつても市場に出さずに短く切つて林のなかに放置してしまいます。市場に出しても市場で運ぶ運賃、手間賃のものがとれないのです。間伐すれば補助金ももらえない残した杉が太るため約30年たてば大径になり高値がつけます。10年ほど前のパブルの頃はこれらの径の杉でも採算のとれる値がついていたのですが、今は住宅着工戸数の減少と安い外材に押されてせつかく育てた杉の間伐したまま放置しているありさまです。

坪倉さんは若い頃から林業に従事してこられました。今は30代の息子さんがおられますが、いろいろ理由をつけてなかなか林業の手伝いをしようとはしないそうです。間伐や枝打ちは大変な重労働で人を雇おうにもやっつてやるといふ人がいません。

このままでは山が荒れ果ててしまふと言います。

このようなことから、鳥取県は3年前から「間伐材待ち出し支援事業」を進めています。日野郡ではこの事業をフル活用、間伐材の市場への運搬出荷に成果を挙げてきています。さらに、県産材を使って一定の建設基準にあつた優良な木造住宅を建設する方に60万円、または30万円の助成を行ってきました。(この事業は平成16年度で終了します。)

間伐材を使用した椅子テーブルなど家具への利用も試みています。

また、来春から導入される森林環境保全税で健康な森づくりを進めていきます。

日野郡の林野面積(約6万ヘクタール)は全県のおよそ4分の1、木材の生産量は(平成14年約4万3千立方メートル)は全県のおよそ3分の1。日野川流域の活性化の第一歩は流域住民とともに森を健康にすること、林業を安定したビジネスにすることに尽きるのです。

問い合わせ先 県民局 県民課 土井一寛  
電話 0859-72-2085



日南町の製材所 大径木でないとい値がつかない

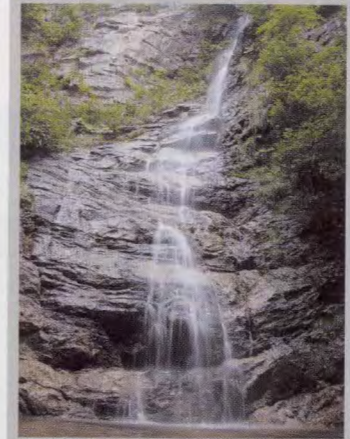


日野総合事務所の自販機コーナーにはPRをかねて日野川源流域の間伐材で作った家具を置いている



柱、梁、土台などに県産材を使用した一定の建設基準にあつた住宅には30万円または60万円が助成される

竜王滝(滝山公園)



小泉八雲の小説「子供の首をかけたお勝伝説」  
有名。滝は繊細で女性的。

## 日野郡の滝

あなたはいくつ  
ご存知ですか

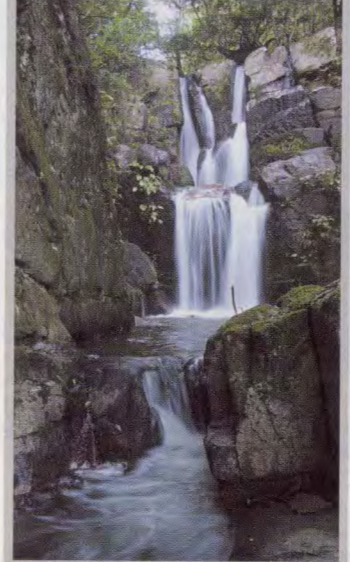
おおきり(滑川ぞい)



ヤマメなどの魚がこれより上にあがらないことからこう呼ばれている。交響曲を奏でるような流れ。

聖滝

コノハナサクヤ姫とニニギの命がこの滝の前で結婚の儀をあげたという清らかな美しい滝。



白馬の滝

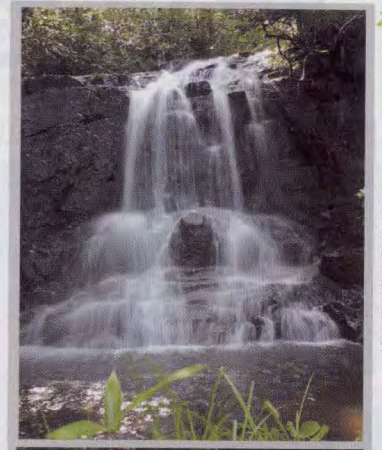
毛無山登山口までの林道からみられる。野性的な滝。



幻の七段滝



毛無山登山口からさらに林道をいったところにある。優美で七段ほどの滝が連なる。



権現滝(雌滝)  
優美で女性的な滝。権現堂の基壇が道脇に残る。



権現滝(雄滝)  
土地の人が権現堂を建立して祭つたのがその名の由来。うねりあふ勇壮な滝。滝つぼは蒼く深くよどむ。



若松滝  
若松川の上流にある。力強いが戦慄を感じさせる。

問い合わせ先 県民局 県民課  
電話 0859-72-2085  
担当 土井一寛



取材：土井・杉山 写真：土井

他にもご存知の滝があればお知らせください。

# 小学生が日野総合事務所見学



8月27日に日野町内の小学5、6年生63人が日野総合事務所を訪れました。小学生の皆さんには、職員が仕事をしているところや、道路情報表示装置などの庁舎の施設を見てもらいました。

日野総合事務所では、日野郡の活性化のためいろいろな取組を行っているのですが、小学生の皆さんが、県の仕事に関心をもっていただけるきっかけになればと思います。



## 問い合わせ先

県民局 企画総務課  
電話 0859-72-2080  
担当 権田高博

# 免税軽油はオトク



皆様が入される軽油代金の中には1リットル当たり32・1円の軽油引取税が含まれており、ガソリンスタンドを通じて県税事務所に納められています。

ただし、特定の用途・機械については、事前に手続きすれば免税で購入して使用することができます。店頭価格88円/リットルであれば免税軽油を使えば55・9円/リットルになります。

## (主な使用例)

- ・トラクターなどの農業用機械
- ・船舶(用途は問わず、レジャー用でもOK)
- ・採石場のパワーシヨベルなど
- ・木材加工業の木材積卸し用フォークリフト

詳しくはお問い合わせください。

## 問い合わせ先

県民局 県民課  
電話 0859-72-2083  
担当 別所秀典

# 編集後記

猛暑といわれた夏も終わり、やっと涼しくなるかと思いきや連続した台風の上陸。自然の驚異を見せつけられながらもまぐるしく季節が流れていきます。

「日野は豊かな自然が身近にあって、時間の流れもゆったりとしていいなあ。」と初めて日野に来た同僚が言っていました。もうすぐ秋も深まり山々が色づきます。その頃にもきっとその同僚は同じようなセリフを言うのでしょう。その後、やってくる冬の洗礼を受け、再び春がやってきた頃に同じセリフが聞けるのか気が早いですが、今から少し楽しみです。

今回の「たより」は縦書きに挑戦しました。字を横書きから縦書きにすればいいと簡単に思っていました。ただ、それだけではありません。段落を考えた時、写真の配置も横と縦では違ってくるんだとやってみて知りました。読みやすくするためにはまだ工夫が足りませんが、皆様に読んでいただけるように作っていきたいと思いますので、どうぞ、ご感想をお聞かせ下さい。

④